

有益な書物とは、読者に補足を  
要求せずにはおかれぬような書  
物のことである。(ボルテール＝  
フランスの文学者、思想家)



# むすぶ

## 幼少期からの読書推進フロンティア事業がスタート

県は、県民の皆様が生涯にわたって読書に親しみ、豊かな人生を歩むことができるよう、読書環境の整備・充実を図っています。特に、読書は習慣付けが重要であることから、幼少期からの読書活動を推進するために、今年度は、次の三つを重点として取り組んでいます。

### 重点3 新規

幼少期から読書に親しむ機会の充実 ～「幼少期からの読書推進フロンティア事業」～

#### 読書絵はがき（読書感想画） コンクール

対象：幼児から中学生まで

内容：本を読んだり読み聞かせを聴いたりして感じたお話の世界を、絵で表現した感想画（はがきサイズ）を募集し、全作品を秋田県児童会館に展示。

#### ビブリオバトル

対象：高校生、大学生

内容：発表者が自分のお薦め本を持ち寄って紹介し、観客が「どの本が一番読みたくなったか」を投票して、「チャンプ本」を決める知的書評合戦。県内4か所で実施。

### 重点1 継続

市町村における「子ども読書活動推進計画」策定の支援

策定済 18市町村  
※今後の策定予定（市町村の回答 H26.3）  
鹿角市：平成27年3月終了  
能代市：平成27年3月終了  
三種町：平成27年3月終了  
仙北市：平成27年5月終了  
羽後町：平成26年5月終了  
湯沢市：平成28年3月終了

### 重点2 継続

県立図書館の「打って出る司書」による地域の読書活動推進の支援

- ・昨年度と同じ司書が県北、県央、県南を専任担当。
- ・年間延べ240館室程度の市町村立図書館及び公民館図書室を訪問予定。
- ・市町村立図書館等の求めに応じた出前研修を実施。

平成26年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体

## 文部科学大臣表彰

文部科学省は、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館及び団体（個人）に対し、その実践をたたえ表彰しています。

秋田県からは、次の皆様が表彰されました。

- 優秀実践学校  
五城目町立五城目小学校  
仙北市立角館中学校  
秋田県立秋田きり支援学校
- 優秀実践図書館  
羽後町立図書館
- 優秀実践団体（個人）  
来間(きき)の会(大館市)



5月21日（水）、優秀実践図書館・団体表彰報告会が県庁第二庁舎教育庁ホールで行われ、受賞者たちは、国立オリンピック記念青少年総合センターでの表彰式の様子やこれまでの活動実績について語りました。



受賞報告に教育庁を訪れた羽後町立図書館と来間の会のみなさん

吉川教育次長からはお祝いとともに、「読書は学問の術であると言われるが、これからも、秋田県の子どもたちの学力を支える読書活動を皆さんで盛り上げてほしい。」との激励の言葉がありました。

## 「打って出る司書」 出前研修 in 能代

能代市教育委員会は、市内の小・中学校における図書館環境の整備や読書活動の充実を図るために、図書館担当教諭や学校図書館事務補助員を対象にした「読書活動推進研修会」を毎年実施しています。今年度は研修テーマを「読書好きな子どもを育てるしかけづくり」とし、5月16日、能代市立図書館で行いました。

この研修会で、県立図書館の「打って出る司書」がブックトークの仕方について、講師を務めました。ブックトークの目的は、紹介した本を読みたいと思わせることと、本には様々な種類があることに気付かせて読書の楽しさを伝えることです。テーマに沿って選んだ数冊の本を、読み聞かせたりあらすじを話したりすることで紹介します。

今回は、「打って出る司書」が、対象を6年生に想定してブックトークの実演を行いました。参



テーマ「旅からはじまる新しい世界」のブックトークの様子

加者たちは、ブックトークの魅力を実感するとともに、「本は表紙をしっかりと見せること」「次の本を紹介するときは、つなぎの言葉が重要であること」「終了後、子どもたちがそれらの本を読むように準備すること」などといった配慮すべき点を、熱心に書き留めていました。

このように、今年度も「打って出る司書」は、図書館職員だけでなく、学校の職員やボランティア、PTAの保護者などを対象にした研修も行っております。最寄りの市町村立図書館又は公民館図書室を通して、県立図書館にご相談ください。

## 子ども読書の日(4月23日)に関する取組 全市町村で174実施

### 大館市立田代図書館

#### 放課後子ども教室でのおはなし会

5月8日(木)、大館市立川口小学校の放課後子ども教室において、田代図書館が地域の読み聞かせボランティア「ドリームライブラリー」を招いておはなし会を行いました。これまで実施したことのない学校の子どもの教室で初めての開催。素話(本を使わないおはなし)や手品を交えて、絵本の読み聞かせを行いました。本好きな子どもたちは、周囲で別の遊びをしている友達にお構いなく、熱心に聞き入っていました。



おはなし会の様子

### 秋田市立土崎図書館

#### めざせ! 図書館マスター

5月10日(土)、図書館利用のマナーや検索機の使い方、本の貸出・返却などを学ぶ講座が行われました。小学2年生と3年生が参加し、通常見ることのない図書館の裏側を見学したりカウンターの仕事を経験したりしました。



読みたい本を検索機で探します



バーコードリーダーで貸出OK

## 大人に読書の楽しみを…

### ひいらぎの会「語りの時間」



今回の公演プログラム表紙

この日朗読された作品は、夏目漱石「夢十夜」、森鷗外「高瀬舟」、芥川龍之介「鼻」、谷崎潤一

4月26日(土)、声のグループ・ひいらぎの会が、秋田市のギャラリー・ココラボラトリーで、「語りの時間～文豪の名作・四話～」を開催しました。

郎「刺青」の四作。約50名の参加者たちは、感情豊かな朗読と笛や三味線などの和楽器の効果的な演出により、活字を読んだときとは異なる臨場感に満ちた小説の世界を味わいました。70代女性は「この語りの公演を通して、改めて文豪たちの研ぎ澄まされた言葉の使い方に気付かされるとともに、日本語の美しさに感動しました。」と話していました。

秋田県教育庁生涯学習課  
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>